



平成22年10月号

編集/発行 小田原市立図書館 小田原市城内7-17 TEL0465-24-1055  
かもめ図書館 小田原市南鴨宮1-5-30 TEL0465-49-7800  
e-mail : tosho@city.odawara.kanagawa.jp

## 図書館で実施される「小田原市 市制70周年記念事業」

小田原市は、昭和15年12月20日に市制を施行し、平成22年12月20日には、市制70周年を迎えます。そのため今年も、図書館でも、市制70周年にちなんだ記念事業を実施します。

### ○ 文学館特別展の開催（10月29日（金）～11月29日（月）小田原文学館）

「市制施行前後の小田原における作家たち」をテーマに、昭和15年前後に小田原で活動した文学者や文学団体をご紹介します。生活の中で戦争の占める割合が大きくなりつつある中、当時の小田原の文学は、どのように展開されていたのでしょうか。

### ○ セピア色の写真展の開催（12月～1月 市役所市民ロビーほか）

図書館で所蔵する貴重な古写真などを、テーマに沿って展示します。今回は、市制施行70周年を記念した内容を予定しています。懐かしい古き良き小田原を写したモノクロームの写真から、皆様のご記憶にも新しいカラーの写真まで、解説を添えてご用意いたします。

### ○ 総合歴史講座の開催（12月中旬）

小田原ゆかりの文学・歴史について、専門家を招いて講座を開催いたします。今年度は、市制施行70周年を記念したテーマを予定しております。

※ 内容については、詳細が決まり次第、「広報小田原 おだわらいふ」へ掲載し、チラシ・ポスターなどで皆様へのお知らせを行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 「音楽教養講座」～クラシック音楽の世界へのお誘い♪～

「音楽教養講座～クラシック音楽入門～」は、今回で24回目を迎えます。ショパンは、映画やCM、テレビドラマ（「赤い激流」での英雄ポロネーズ・最近では「のだめカンタービレ」でのピアノ協奏曲第1番等）などでも、よくご存知でしょう。ピアノの詩人・ショパン、ロマン派音楽を代表するシューマン、交響曲と歌曲の大家マーラーのアニバーサリーイヤーである今年、「生誕200's ショパン/シューマン・150's マーラー」がテーマ。講師 斉藤彌三郎さんの「エッ！」と驚く楽しいおはなしとコンサートのような雰囲気の中で、どうぞご鑑賞ください。

◇ 日時 ①平成22年10月24日（日）、②10月31日（日）、③11月7日（日）  
時間はいずれも13:30～15:30（受付は13時～）

◇ 曲目 ピアノ協奏曲第1番（ショパン）、子どもの情景（シューマン）ほか

◇ 会場 小田原市立かもめ図書館 視聴覚ホール ◇ 定員 各日100名（先着順）

※ お申し込みは、かもめ図書館までお電話、または直接で受付けております。（無料）



# 長期未返却者等に対する貸出停止措置について

平成 22 年 10 月 1 日より、返却期限を二ヶ月以上過ぎた図書館資料もしくは、返却期限が過ぎた予約本をお持ちで、既に口頭や電話により督促をお受けになられた方に対しては、当該資料の返却が認められるまで図書館資料の貸出の停止措置をとらせていただくことにいたしました。

また、度々延滞される方や悪質と思われる方については、より厳しく一定期間の貸出停止措置を考えております。これを適用する場合は、事前に文書でご本人に通知いたします。

現在、図書類については2週間、視聴覚資料（CD、ビデオ等）については1週間の期間を設けて貸出を行っており、予約資料で返却期限の過ぎているもの、又は返却期限を一ヶ月以上過ぎた資料をお持ちの方には、適宜返却を促すお電話を差し上げております。この様なことから、市民の共有財産である図書館資料の有効活用を図るためにも、上記措置をとることにいたしました。

趣旨をご理解の上皆様のご協力をお願い申し上げます。なお、詳細については図書館職員にお問い合わせください。

## ☆ 小田原と文学



### — 小田原出身の文学者2名のエピソード —

小田原市立図書館では、今年度、「小田原出身・ゆかりの文学者の紹介」をテーマとして、毎月1名の文学者について企画展示を行っています。その企画展示で取り上げた文学者について、人柄が偲ばれるエピソードなどをご紹介します。

#### ☆ 牧野信一 ～幻想の中に生きた作家～

- ・ 尋常小学校に入学した頃から、イギリス人宣教師から英会話とオルガンを学びました。
- ・ 小田原文学館では、牧野信一の幻とされた短編小説『心象風景』の第6節の原稿を展示しています。
- ・ 坂口安吾、井伏鱒二、石川淳などの才能をいち早く賞賛した、鋭い読み手としての役割も果たしました。

#### ☆ 尾崎一雄 ～冬眠居主人～

- ・ 独特のリズムと、爽やかな読後感が大きな魅力です。
- ・ 志賀直哉に師事し、山口剛や窪田空穂などの影響を受けました。
- ・ 小田原文学館には、尾崎一雄の書斎が移築されています。富士山や風景を眺めていたという双眼鏡や、趣味として親しんだ碁盤、また、愛飲したウイスキーや焼酎の瓶も展示されています。



### ◆本の予約状況（9月23日現在）

順位	書名（著者名）
1	夜行観覧車（湊かなえ）
2	小暮写真館（宮部みゆき）
3	プラチナデータ（東野圭吾）
4	カッコウの卵は誰のもの（東野圭吾）
5	1Q84 BOOK3（村上春樹）
6	1Q84 BOOK1（村上春樹）
7	天地明察（沖方丁）
8	小さいおうち（中島京子）
9	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら（岩崎夏海）
10	あんじゅう（宮部みゆき）

読み終えてご不要になられた方は、ぜひ図書館にご寄贈ください。

## ◇ 情報発信コーナー／企画展示（市立）企画展示のコーナー（かもめ）◇

### 市立図書館（一般／児童）

- 10月 気になる気象と台風 / 体ってふしぎ
- 11月 漫画 / 手作りって楽しい！！
- 12月 日本の旅 / 昔のあそび

### かもめ図書館（一般）

- 10月 雅の世界
- 11月 体を大切に
- 12月 キレイなお部屋で新年を迎えよう

### かもめ図書館（児童）

- 10月 よんでみよう！こどもの本 / あまん きみこ
- 11月 ショパン生誕200周年 / レオ＝レオニ
- 12月 メリークリスマス / いわさき ちひろ